

「身近な水環境の全国一斉調査」参加報告（2007/6/3）

1. 概要

水環境に関心を持つきっかけづくり等を目的とした「身近な水環境の全国一斉調査」は、市民グループと国土交通省・(財)河川環境管理財団が連携した全国的な取り組みであり、調査結果をわかりやすいマップとして毎年公表しています。

参加者は、統一的な調査マニュアルにもとづき、簡単な機材と試薬(事務局から無償で配布)を用いて、気温、水温、試水水温、COD(化学的酸素要求量)の4項目を測定します。

今回(第4回)調査では、全国 917 団体(個人含む)、5,473 地点で 8,000 人を超す参加者であったと報告されています。

水コン協関東支部からは 50 組(約 100 名)が本調査に参加し、一般市民として身近な水環境の保全を考えるきっかけになったものと考えています。

参加者から水コン協事務局に寄せられた感想の一部を以下に示します。

- ・ 今回の調査に参加したことで、実際に水辺に行って体感することの大切さを改めて認識した
- ・ 身近な環境について知る良い機会だと思うので、これからも続けていくべきだと思う
- ・ 子供とともに身近な川の環境について考える良い機会でした

2. 写真

